

タンネウシ 4

2005年の博物館は...

月号



シマフクロウ

こんなことを計画しています！

・知床世界遺産登録に関連する事業

今年7月に世界遺産登録が期待される「知床」を長年調査し、多くのデータを蓄積してきた博物館から情報を発信します。

- ・特別展「世界遺産・知床」の開催
- ・特別展図録作成「知床データブック（仮称）」
- ・講演会の開催

・発掘調査事業

- ・ウトロ遺跡の発掘調査と発掘体験講座の開催
ウトロ市街地の地下に残されている古代の集落を発掘します。
町民の方々の発掘体験も計画しています。
- ・重要遺構が見つかった来運1遺跡の発掘調査と発掘見学会の開催
日本ではじめて見つかった壁を持つ住居の発掘調査が行われます。
また、専門家によるフォーラムなどの開催も予定しています。
遺跡見学会は8月上旬予定。

・北海道大学が「知床博物館」を核とした「知床学」教育プログラムを展開

- ・大学の先生や学芸員による斜里町での公開講座の開催
複数回実施予定をしています。
- ・北大文学部による考古実習と発掘体験講座の開催
オホーツク文化期の竪穴住居跡を発掘調査します。
発掘体験講座も計画しています。

4月1日より博物館常設展観覧料が
変わります。

一般（高校生以上）300円（250円）

※小中学生は無料です。

（ ）内は15人以上の団体料金

・博物館講座

- ・植物観察会：5月（ヤナギ観察会）から開始。
ほかにイネ科観察会、冬芽観察会。
- ・夏休み体験講座：8月上旬
- ・天文講座：星座や惑星、流星群の観察会。
- ・地質観察会：羅臼岳観察会6月頃予定

＊＊講演会＊＊

「黄金の国ジパング～火山と温泉が生んだ金鉱床」の様子から

3月18日、講演会を行いました。当日は天候があまりよくないにもかかわらず、22名の参加がありました。まず最初に金に対してどの程度知っているか問題を出され、皆で挑戦！なかなか難しく全問正解はいませんが、一番多く正解した方には講師の松枝大治さんから金箔がプレゼントされました。金の知識が少し得られたところで金鉱床についてスライドを見ながらお話が始まりました。金鉱床とは温泉水から沈殿したもので、火山の下のマグマにも金が入っているとのこと。鹿児島次に北海道で金の採掘が多いことがわかり、火山性の温泉活動と金鉱床の形成の密接な関わりが明らかになってきました。金は装身具はもちろん電気通信機器（携帯電話など）にも使用され、世界で金を一番採掘している南アフリカでは富士山と同じ高さ（深さ）を採掘しているとのことでした。二時間があっという間に過ぎてしまい質問時間が少なくなりましたが、現在も金鉱床が形成されているという興味深いお話を聞くことができました。



松枝大治さん（右）より金箔をプレゼントされているところです